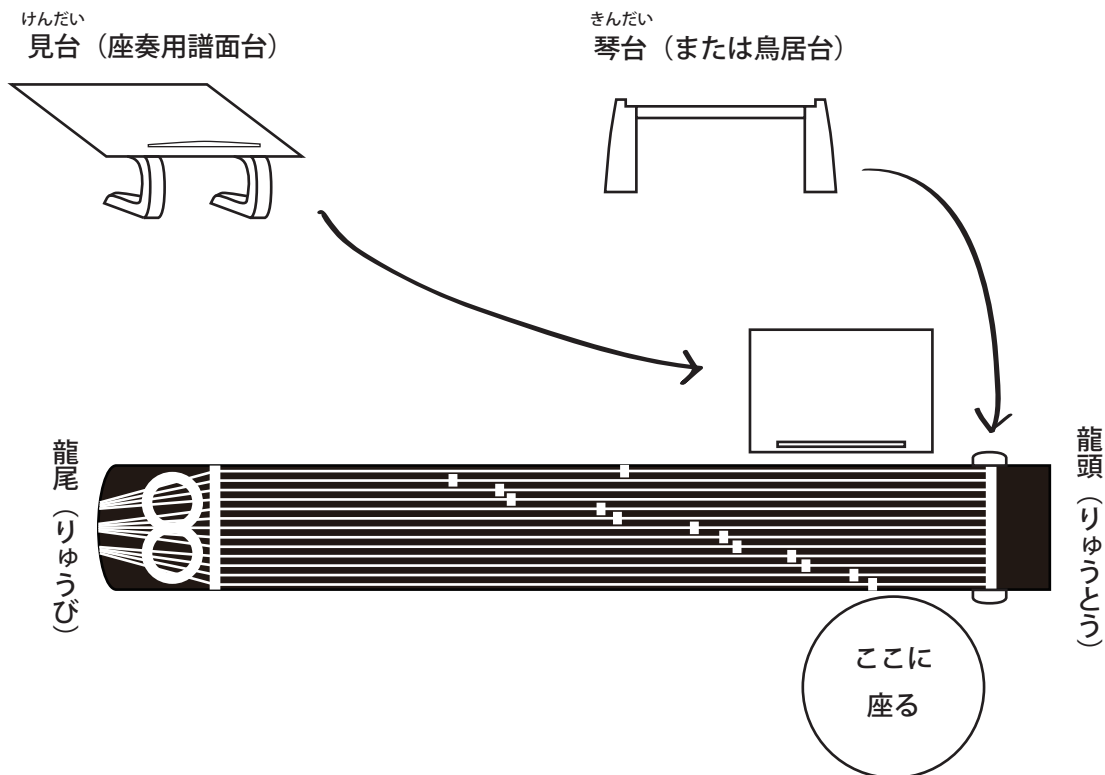
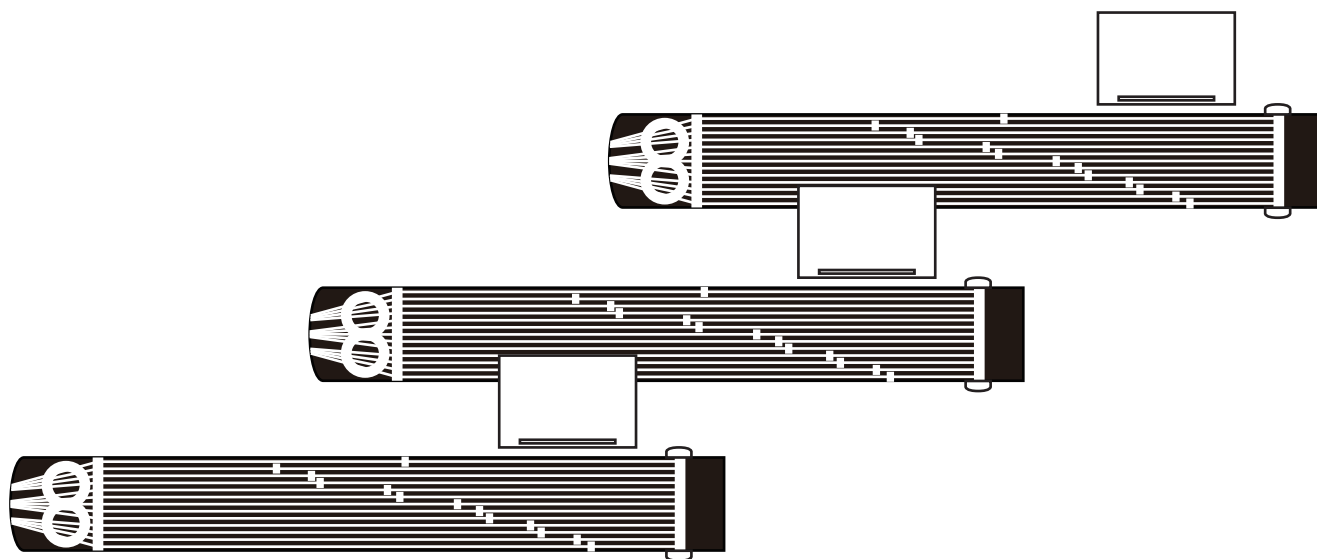


座奏（正座で座って演奏すること）の際の箏のセッティングについて



箏一面につき、見台、琴台を一つずつ用意します。演奏者は龍頭側に座るので、見台も演奏者が弾きながら見やすいように龍頭側に置きます。琴台も龍頭側を上げるために使います。

余談ですが、箏という漢字を使っておきながら琴台という名称を使っていたりしてややこしいですね。



複数人でレッスンや練習をするときはこんな形で斜め後ろにずれて配置していきます。

見台の形状は箏の前後の距離を縮めることができるようになっております。

押し手の邪魔にならないように注意しましょう。